

【令和5年度 厚生労働科学研究】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策事業

「多彩な自然災害発災時における循環器病発症・再発予防に資する注意喚起ツールの開発」

《 アンケート調査について 》

1995年に発生した、阪神淡路大震災以降、災害に関連して脳心血管疾患が発症・増悪することが医療従事者・行政に広く認識されるようになりました。その後、続発する甚大な災害においても「災害関連疾患」の発生状況が調査されており、災害直後のストレス・長期の避難生活による深部静脈血栓症等の循環器疾患を発症することが問題とされています。

我々研究班は、今後起こり得る地震のみならず風水害、暑熱、寒冷被害、その他自然災害にも対応可能な「災害時ガイドライン」改訂と、新たな注意喚起ツールを作成し《災害時の脳心血管疾患発症の予防》を目標としております。

その為には、これまでに発生した災害時の情報収集を行い、実態を把握することが大変重要であると考えており、この度アンケート用紙を用いた調査を実施させていただくことと致しました。可能な範囲で、どうかご協力をお願い申し上げます。

【 倫理審査承認 】

この度実施致しますアンケート調査は、研究代表機関である熊本大学倫理審査委員会におきまして、審査を行い承認されております。

《 お願い 》

- ① まず初めに、御施設の情報収集のための質問にご回答願います。
2ページ目より、質問 A.、質問 B.、質問 C. につきまして、該当する□にチェックをお願い致します。
- ② 質問 A. に該当した場合は、同封のアンケート調査用紙、《災害発生時-患者情報アンケート調査》（患者個票）にご回答いただき、無記入の調査用紙も含み、同封の封筒をご利用いただき、ご返送いただきますようお願い申し上げます。
- ③ 誠に勝手ながら、**2024年 3月 1日(金)**までにご返送をお願い致します。

お問い合わせ先事務局 （ご不明な点は下記までご連絡ください）

【令和5年度 厚生労働科学研究】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策事業 事務局
熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学 研究代表者 教授 辻田 賢一

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 TEL: 096-373-5442
循環器内科 心血管治療先端医療寄附講座 事務担当: 菊池 章代

質問B. 発災当時の貴院の状況についてご回答願います

■災害の影響について

影響を受けた

影響は無かった

■ライフラインについて

① 電気 — 使用可能 使用不可

② 水道 — 使用可能 使用不可

③ ガス — 使用可能 使用不可

④ 固定／携帯電話 通信 — 使用可能 使用不可

■設備について

① 自家発電の有無
(設備されている) 使用した 使用しなかった
 設備無し

② 貯水の有無
断水に対して給水支援を、 受けた 受けなかった

災害に該当する場合は、同封のアンケート用紙にご回答をお願い致します。
ご記入後は、こちらの用紙も、事務局までご返送いただくようお願い申し上げます。

なお、**災害時の診療経験がない御施設**もこちらの用紙と、無記入アンケート用紙
をご返送ください。

ご不明な点は、事務局へご遠慮なくお問合せ下さい。

質問C. こちらは、御施設の情報をご記載願います。

※恐れ入りますが、アンケート回答されなかった場合もこちらのご記入をお願い致します

■ 御施設名 ・ 住所

■ 電話番号

--

■ ご対応いただいた部署名

--

■ アンケートご回答いただいたご担当者名

※こちらは、ご回答いただける範囲で構いません

もしも、アンケート調査の回答で不明な点があった際に、お尋ねするためです

①	・ ご担当者名	
	・ メールアドレス	

②	・ ご担当者名	
	・ メールアドレス	

■ アンケート用紙ご回答枚数

	名分
--	----

《 アンケート調査票について 》

同封いたしました「アンケート調査票(患者個票)」は、50部ご準備しております。
ご回答いただける患者が50名以上おられる御施設には、可能な限りご協力いただき、
情報をご提供お願い申し上げます。

その際は、事務局までご連絡いただき追加のアンケート調査用紙を発送致します。

ご多忙のなか、大変恐縮ではございますが、どうかご対応よろしくお願い致します。